

**市の将来都市像**

- ◇人と地域が主体のまち
- ◇人が集まり、豊かに  
すごせる魅力あるまち
- ◇活躍する人が育つまち

## 町田バスセンターに エレベーター・ エスカレーターが 設置されました



小田急線町田駅前の町田バスセンターに昇降機(エレベーター1基・エスカレーター1基)が設置され、完成式典が10月22日に、市議会議員、福祉関係者及び警察、

消防関係者等を招き開催されました。式典では、市長、市議会議員、福祉関係者によるテープカットが行われ、エレベーターの試乗後に運行を開始しました。

この事業は「町田市福祉のまちづくり総合推進条例」及び「交通バリアフリー法」に基づき、平成12年度に作成された「JR町田駅・小田急町田駅周辺のバリアフリーネットワーク化のあり方について」の報告に基づいた事業の一つで、事業規模は、エレベーター1基(車椅子対応11人乗り)、エスカレーター1基(標準タイプ2人

乗り)、その他一式(バス停仮移設・トイレ補修等)。事業総額は、約1億8千万円(内国費補助分5千万円)です。

町田バスセンターは、小田急線町田駅・JR町田駅の自動車交通と鉄道の結節点として、市内路線バスの約70%に当たる1日752本のバスが発着するバス路線の要所で、1日も早いバリアフリー化が望まれていました。この昇降機の完成により、車いすでの利用、また、高齢の方ならびに小さなお子さんの安全性及び利便性の向上が図られ、様々な方々が自由に行き来できるようになりました。



午後2時から即売  
ハクサイ、キャベツ、ダイコン、バラ、シクラメンなど  
植木の部  
午前9時30分から展示即売  
ツゲ、モッコク、シャラなど  
生産者による直売  
地元産の新鮮な野菜、卵、シイタケ、植木などがあります。  
模擬店  
やきとり、焼きそば、豚汁など  
催し物  
ミニSSL(10時30分)、太陽と緑のステージ(和太鼓、祭囃子)、わら・竹細工、牛とのふれあいコーナー、子ども動物園など  
生産者直売、模擬店、催し物は午前9時30分から開催。  
交通 町田バスセンター11番乗り場または町田駅POPビル先乗り場から野津田車庫行きバス、鶴川駅0番乗り場から野津田車庫行きバスで「野津田車庫」下車、徒歩10分  
問農業振興課 ☎724・2166  
(町田市太陽と緑のまつり事務局)

**第31回**  
**太陽と緑のまつり**  
**〜農業祭〜**  
11月28日(日)

今年で31回を迎える太陽と緑のまつり。市内の農家で作った自慢の農作物を格安で販売するほか、各種催し物をご用意してお待ちしています。  
ご家族、お友達をお誘い合わせ

## 新潟県中越地震に 医師、建築技術職員など 派遣



新潟県中越地震の被災地に向け、市では、これまでに毛布、食料などの支援を行いましたが、新たに医療支援として、医師、看護師2人、事務職員1人の計4人を小国町診療所に、また東京都と協力して建築物の応急危険度判断のため、建築技術職員1人を小千谷市に派遣することを決め、10月29日、市長などの激励を受け、被災地に向け出発しました。

医師らは、5日間、建築技術職員は3日間、それぞれ、現地での活動を行いました。また、交代の第2次派遣として11月2日には看護師2人、事務職員1人が派遣されています。



市役所前から被災地に出発する医療派遣チームを乗せた車両



鶴川中学校(新田利子校長)の1年生129人は10月21日、モスクワ日本人学校と交流した。

生徒たちは「総合的な学習の時間」の国際理解教育学習であらかじめ調べておいたロシアのことについて、映し出された大画面を見ながら質問、回答のやり取りを行いました。

鶴中の生徒たちは、「ロシアの生活が大変なこと何ですか」、「日本のテレビは見るのができますか」、「冬の楽しみは何ですか」などを質問、日

**鶴川中学校1年生  
モスクワ日本人学校生徒と  
テレビ会議で交流**

クワ日本人学校中学部1年生17人とインターネットを利用してテレビ会議を行いました。

生徒たちは「総合的な学習の時間」の国際理解教育学習であらかじめ調べておいたロシアのことについて、映し出された大画面を見ながら質問、回答のやり取りを行いました。

鶴中の生徒たちは、「ロシアの生活が大変なこと何ですか」、「日本のテレビは見るのができますか」、「冬の楽しみは何ですか」などを質問、日

## 町田市子ども マスタープラン(案) 答申されました



市では子どもや家族に関する施策の基本的方向性を示すために、昨年11月、「町田市子どもマスタープラン審議会」(会長森田明美、東洋大学社会学部教授)を設置し審議してきました。5回の審議会のほか、3つの専門部会に分かれてそれぞれのテーマについての議論を交わしてきました。また、子ども自身の意見を聞くため、公募した中高生による子ども委員会を設置し、子ども委員と審議会委員との意見交換会も行ってきました。こうした議論の結果、10月26日、「町田市子どもマスタープラン(案)」が市長に答申されました。(左写真)。

なお、答申の内容は、「市政情報やまびこ」で閲覧できます。また町田市ホームページでもご覧いただけます。

町田市子ども総務課 ☎724・2876

本人学校の生徒からは「テロなど治安が悪く一人では外出できない。買いたい物が手に入らないし、日本食は値段も高く、カップラーメンは一つ500円もする」と「テレビは衛星放送で大河ドラマや連続テレビ小説、トリビアの泉など半年くらい前のものがみられる」、「冬はマイナス15度くらいで、スケートやそりなどで遊ぶ。夏より楽しい」などの答えが返ってきました。交流はちよっぴり緊張もありましたが、和気あいあいのもと進められました。

最後は、鶴中校歌とロシア語を交えたカチューシャを全員で合唱し終了。

新田校長は、「生の情報が得られ大変良かった。今後もテレビ会議の授業をおおして交流を一層深めていきたい」と話していました。

問教育委員会指導課 ☎724・2867